

# 北の自然

第 23 号

1985年2月1日

## 機関紙再開のあいさつ

事務局長 田中明子

新年あけましておめでとうございます。

去年四月の「北の自然」号外凸以来、約一年にわたり、連合の基本的な活動である機関紙が発行されませんでした。日高中央横断道路・支笏湖のレジャー基地建設・美咲富士の観光開発・千歳川放水路など多くの問題が次々と押し寄せる中、加盟団体・賛助会員の皆さんに的確な情報をお伝えできませんでした。このことを深くお詫びします。

機関紙を出せなかつた理由として、財政難、事務局員の不足などがあげられます。これから財政の改善がみられるまで、今づくり会報を発行することにしました。以前よりは情報量が減りますが、定期発行を守りたいと思います。会員・加盟団体の皆さんに重ねてお詫びしますとともに、今後ともご協力をお願いいたします。

----- も く じ -----

○ 機関紙再開のあいさつ	..... 1P	○ 日高中央横断道路反対	
○ 連合事務局について考えたこと	..... 2P	運動の経過	..... 3P

# 連合の事務局について考え

たこと。事務局員 丹野 美智子

北海道自然保護団体連合が結成されて今年で10年目を迎える。元々、その中の1団体の1人にすぎなかった私だが、二年前から自然保護スワールを通じて事務局に顔を出さようになった。何もわからず、他の人達にくっついて今日までまかされたが、そのわがが二年前の間にも人員的、その他いろいろな面でも変動があったように思う。10数年の時もあれば、たった2人で細々といることも……。そして今もまた、田中事務局長を中心に数人で運営している状況である。財政面でも、人員面でもせっぱ詰まっている。本来の事務局とは、各加盟団体から出された人達が事務局員となり、各団体の情報センターとして、連合に加盟しているすべての団体が運営するものではないだ

ろうかと思う。今の事務局は孤立している。確かに今の事務局の体制は良いとは言えない。ここ二年前位機関紙の発行も行ってないし、加盟団体に的確な情報を伝えることもなく……。私達のいたらない面は多々あり、本当に申し訳なく思う。4月より新年度に入る訳だが、私なりの提案をしたい。

- ① 在札団体から最低1名の事務局員を出す
- ② 代表者会議とは別に、加盟団体の交流の場を設け、お互いの活動や情報を交換する場とする。
- ③ 大きなイベント等を組む場合、財政的に困難な場合は各団体に計りその対策を講じる。
- ④ 日高中央横断道路の問題については、事務局内にも別にプロジェクトを組んで活動する。

10年間いろいろあったが続いて来た連合。自然を愛する人達によってつくられている。連合。この機会に加盟団体・賛助会員のみなさんといっしょに知恵をしぼり、今をとりあつて連合のあり方について考えたい。

# 日高中央横断道路反対運動の経過

- 84 4. 21 ~ 22 連合代表者会議～着工の年ということ、今年は道路阻止に向け、十勝側・静内側西方で反対の現地集会・予定コースの現地踏査を行なうことを決定する。
- 5月 ~ 7月 日高自然セミナー・日高中央横断道路予定踏査隊などへの準備と呼びかけ。
- 7. 21 ~ 30 道央地区勤労者山岳連盟の全面的な協力により中央横断道路現地踏査を成功させる。  
(日高側 23名 十勝側 6名)
- 7. 28 ~ 29 日高自然セミナー (参加者 60名) 多くの人もちに道路が作られようとしている現場の地質や自然について知ってもらえた。
- 8. 26 連合代表者会議～日高中央横断道路反対決起集会を行なうことを決定。また新たな取り組みとして、全国紙の一面に意見広告をのせる
- 9. 4 5000人の買取り運動を進めることも決
- 9. 4 市民会館大会議室において、日高中央横断道路反対決起集会を行なう。(参加者 170名)
- 9. 17 対道交渉を行なう。(連合…事務局・登山協会・沙流川 VS 道庁…生活環境部・土木部道路課) 非公闘で行なわれ、道側は技術論、連合は道路全面阻止でものわがれになる。
- 10. 30 静内側工事着工に当り有志現地抗議集会参加
- 12. 30 5000人の買取り運動第一次未切り(12:30までの到達点 392名 620口)

『北の自然』に原稿を  
送って下さい

各地で様々な運動をかかえている加盟団体・賛助会員の皆さん。『北の自然』に活動の報告や自然保護に関する意見を送って下さい。皆さんからの記事で紙面をいっぱいにして、真の意味の機関紙となるようにしたいと思っています。

★原稿の送り先

札幌市北区北10条西1丁目（道央地区

勤労者山岳連盟内）

北海道自然保護団体連合会の自然係

編集後記

★4月から北の自然出すべってみんな  
で話しあっていたのですが、なかなか  
が実行まで到らぬ今日になってしま  
いました。出来た機関紙も4ペー  
ジのシンプルさ。でも今の事務局は高  
望みしてもしようがありません。少  
ない財源と人員は各自のファイトで  
やるしかないと思っています。

次号からは、ページ数ももっと増す  
ようにガンバってみるつもりです。

（パーマン）

★編集部員2人で始めた北の自然、紙  
面充実をめざしていきます。もし手っ  
だつてくれよう人がいたら……。  
北の自然に愛の手を！